

事案の概要

4月9日、柳成葉(ユ・ソンヨブ)国会教育文化体育観光委員長(民主平和党議員)は、16日～17日に、他の教育文化体育観光委員会所属の議員と共に、竹島に上陸する旨発表。
柳議員は、「日本の歴史教科書の歪曲(ママ)に抗議し、『独島』(ママ)の領土主権を確認するため国会議員達が『独島』(ママ)を訪問することにした」としている。

我が国の立場・対応

- 竹島の領有権に関する我が国の立場に照らし到底受け入れられず、極めて遺憾。
- 柳議員の発表を受け、韓国政府に対して直ちに我が国の立場を伝え、強く抗議するとともに、計画の中止を要求。

(抗議のレベル)

- 金杉外務省アジア大洋州局長→李熙燮(イ・ヒソプ)在京韓国大使館次席公使
- 水嶋在韓大次席公使→金容吉(キム・ヨンギル)外交部東北アジア局長

【参考】竹島をめぐる問題



1 我が国の立場

●竹島は、歴史的事実に照らしても国際法上も明らかに日本の固有の領土であるという日本の立場は一貫しており、冷静に粘り強く対応していく。

2 竹島をめぐる主な動き

- ◆2012年8月10日、李明博大統領（当時）が竹島に上陸。これに対し、我が国政府は直ちに強い遺憾の意と嚴重な抗議を実施。
- ◆政府は、同年8月21日、韓国政府に、竹島問題について、国際法に則り、冷静、公正かつ平和的に紛争を解決することを目指して、国際司法裁判所への提訴としての合意付託及び日韓紛争解決交換公文に基づく調整を提案。同月30日、韓国政府はこの提案を拒否。
- ◆同年8月21日、竹島の領土問題に関する関係閣僚会合を開催し、①国際法に則った紛争の平和的解決のための周到な準備と②我が国の立場についての対外発信の強化、③今後の政府の体制の強化についての検討も早急に実施すること。また、④民間分野において、竹島問題等の調査・研究、国民世論の啓発のための活動を支援するための取組を調整すること等を確認。
- ◆2013年2月5日、我が国の領土・主権に関する国民世論の啓発等に係る企画及び立案並びに総合調整を行うため、内閣官房に「領土・主権対策企画調整室」を設置。
- ◆2018年1月25日、「領土・主権対策企画調整室」が東京都内に「領土・主権展示館」を開館。

3 その他最近の動き

- ◆韓国政府は、竹島での防波堤や入島支援センター等の建設事業を推進させる計画。
 - ◆2014年1月、慶尚北道知事が竹島に上陸し、声明を発表。
 - ◆2016年4月、韓国政府と民間による竹島教育強化のための協力委員会を発足。
 - ◆2016年7月、文在寅(ムンジェイン)「共に民主党」(野党)前代表(当時)が竹島に上陸。
 - ◆2016年8月、羅卿瑗(ナギョンウォン)議員他複数の国会議員が竹島に上陸。
 - ◆2017年1月、金寛容(キムグァンヨン)慶尚北道知事が竹島に上陸。
 - ◆2017年10月、韓国海兵隊が「戦略島しよ防衛司令部」の創設計画を発表。
 - ◆2017年10月、韓国国防委員会が、竹島周辺を飛行。
 - ◆2017年11月、米大統領訪韓時の夕食会において、「独島エビ」を使用。
- ※この他、韓国軍は竹島防衛訓練を定期的実施(前回は2017年12月28日)。
→ 我が方政府から強く抗議を実施。